

トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年12月9日～2017年12月15日までの推移】

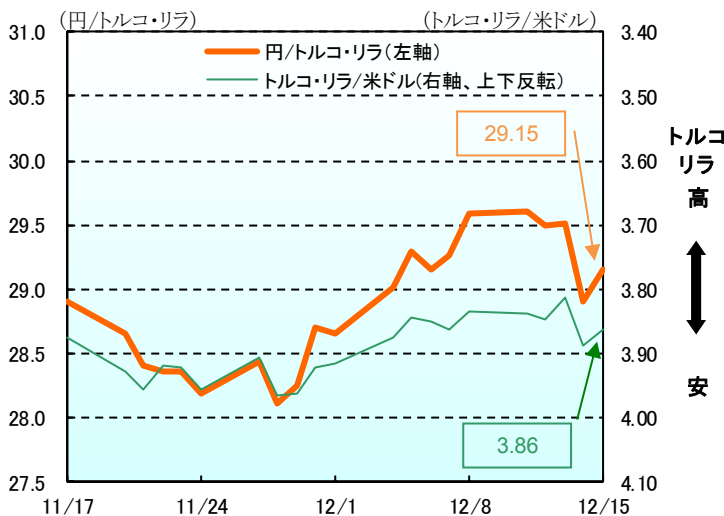
【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通して見ると対米ドル、対円で下落となりました。またトルコの2年国債金利は上昇しました。

10月経常収支は市場予想よりも小幅な赤字にとどまり、7-9月期 GDP(国内総生産)はクーデター未遂事件の影響からの反動もあり、前年同期比で見ると2桁の成長となりました。また14日に開催された金融政策委員会では、後期流動性貸出金利を0.50%ポイント引き上げ、12.75%とすることを決定しました。

トルコ金融市場では、1.00%ポイントの後期流動性貸出金利の引き上げが見込まれていたため、利上げ幅が予想を下回ったことが市場の失望を招き、1週間を通してみるとトルコ・リラは下落し、金利は上昇しました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年11月17日～2017年12月15日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

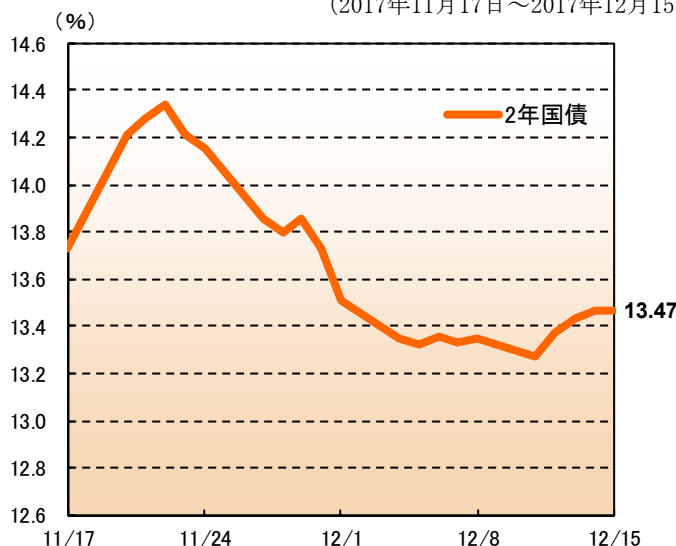
今週は、特段重要な経済指標の発表は予定されていません。

引き続き、トルコ・リラの動向に注目が集まりやすいと想定します。今後も中央銀行の金融政策姿勢がトルコ・リラの安定につながり、インフレへの対処が進むかが相場を動かす材料になりやすいと想定します。

市場では利上げ幅が市場予想を下回ったことを失望する見方もありましたが、エルドアン大統領による利下げ圧力もみられる中で、利上げを実施できたこと自体は中央銀行の通貨防衛姿勢を相応に示したものと考えられます。

【トルコ 金利推移】

(2017年11月17日～2017年12月15日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>